

実施計画事業名		住環境整備事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		建設産業部 都市整備課		課長(主幹)名	鈴木 聡			
総合計画体系	分野	4	都市基盤					
	政策	3	調和のとれた持続可能なまちづくり					
	施策	3	生活を支える社会基盤整備を進めます					
	関連施策							
現状と課題	市営住宅は、全体戸数に対して入居希望者数が多く慢性的な入居待機状態となっているほか、耐用年数経過等による住み替え対象者も多く見受けられ、戸数が不足している状況にある。 また、老朽化による大規模な修繕や日常の修理件数が増加していることなどから維持管理費も増加している状況にある。入居者が負担する家賃には修繕額相当分が含まれているが、入居者責任の明確化を図ることが求められている。							
目的	市営住宅の直接建設を行うことで住み替え対象者及び入居待機者の解消を目指すとともに、市営住宅の適正な維持管理及び計画的な修繕を行い入居者が快適に過ごせる環境を提供する							
5ヶ年展開の	宝来団地(2期)40戸の直接建設(平成21年度～平成24年度) 市営住宅の維持管理全般(維持・修繕、各種保守点検など) 稚内市営住宅長期修繕方針に基づき、計画的な改善を行う							
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	適正な市営住宅管理戸数		戸	目標	840	845	900	
説明	市営住宅ストック総合活用計画に基づく市営住宅必要管理戸数確保に向けた、各年度の年次目標戸数			実績	844	844		
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	市営住宅新規建設戸数		戸	目標	0	0	0	
	説明			実績	0	0		
	計画修繕住棟		戸	目標	147	5	40	
	説明		長期的な計画に基づき修繕を行った戸数	実績	163	35		
	新規入居件数		戸	目標	40	35	50	
	説明		新たに市営住宅へ入居できる事となった戸数	実績	47	37		
				目標	-	-	-	
説明			実績					
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	633,523	433,485	396,079		
	国庫支出金		千円	247,104	180,534	143,584		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	104,200	185,600	223,400		
	その他		千円	18,847	19,524	19,689		
	一般財源		千円	263,372	47,827	9,406		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.83	2.68	2.68		
人件費(B)		千円	12,675	18,200	18,200			
計(A+B)		千円	646,198	451,685	414,279			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する>
	宝来団地(2期)40戸の建設は、計画通り平成22年度に発注を終え、平成24年10月の供用開始を予定している。個別改善事業については、平成22年度に「稚内市公営住宅等長寿命化計画」を策定したことにより、今後も交付金対象事業として取扱いできるようになり、整備内容も高齢者への配慮が尽くされ、福祉面、安全性の確保、居住性などの機能向上を図るとともに、建築物自体の長寿命化を図ることができるようになった。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する>						
	1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--